

2023 年度 東海支部研究集会シンポジウム

【テーマ】

「新時代を拓く 建築材料・施工の最新事情」

【趣旨】

建設技術者・技能者の高齢化が進み、建築物の生産・施工現場においては慢性的な人出不足が続いている。近年は特に短納期での建設が望まれることから、高い品質を確保しながらの一層の生産性の向上が求められている。これに応じて、BIM や ICT を活用した省力化・自動化の試みが盛んである。また、建築材料に注目すれば、JIS や JASS 5 改定を機に CFT 柱をはじめ他の部材へも高流動コンクリートを利用して生産性の向上を目指す取組みもある。そこで、建築物の生産・施工の現場をあらためて俯瞰する視点から、最新の取組み事例について紹介いただき、現状と今後の展望について討論する。

主催：東海支部材料施工委員会

日時：2024 年 2 月 20 日（火） 14:30～16:30

会場：名古屋工業大学 2 号館 0211 室

名古屋市昭和区御器所町

アクセス方法：<https://www.nitech.ac.jp/access/index.html>

進行：藤森 繁（大同大）、伊藤 洋介（名工大）

プログラム：

支部長挨拶	14:30 - 14:35
趣旨説明	
3次元スキャン技術を活用した建築資材のトレーサビリティ記録 染谷 俊介 氏（株式会社竹中工務店）	14:35 - 15:05
設計から施工、そして維持管理・運用にわたる BIM の活用 曾根 巨充 氏（前田建設工業株式会社）	15:05 - 15:35
<小休憩>	15:35 - 15:45
CFT 造をはじめとした高流動コンクリートの利用の現状と展望 神代 泰道 氏（株式会社大林組）	15:45 - 16:15
討論・総括	16:15 - 16:30